



ヨシ原環境の改善に向けて

地域伝統の復活

昨年度に続き2度目の火入れ

2019.4.23



4月23日(火) 岩木川下流の地域に伝わってきたヨシ原の火入れ14haを50名の参加により岩木川右岸の中泊町若宮地区で行いました。

岩木川下流部には、広大なヨシ原(約400ha)があり、貴重な動植物の生息・繁殖地となっています。

しかし、地域が伝統的に実施してきたヨシの刈り取りや火入れが行われなくなり、ヤナギなどの侵入により、環境劣化が進行しており、環境改善と保持が喫緊の課題となっていました。

昨年度は岩木川の改修100周年を契機に、地域の団体や行政機関からなる「**岩木川下流ヨシ原の火入れ検討会**」が設立され、環境保全のため、昨年4月にヨシ原への火入れの実証実験を行っております。

今年度におきましても、ヨシ原の火入れ復活に向け、検討会では現地実験を行いました。

この火入れは、地域の伝統行事(春の風物詩)の復活としても期待されております。



十三湖

岩木川